

第12回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2023年8月28日（月）10:00～

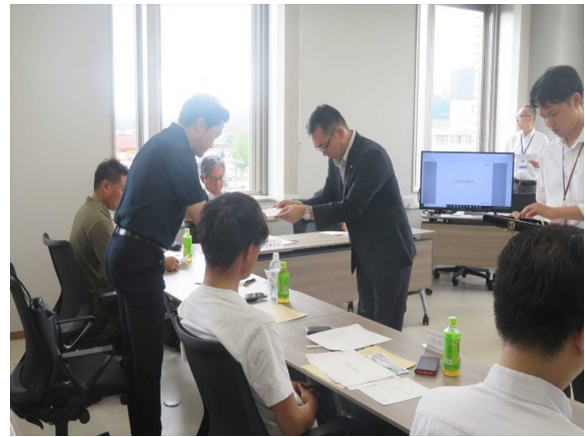
2. 場所

倶知安町役場3階 第2委員会室



3. 委嘱状の交付

（町長より、委員へ委嘱状を交付）



4. 町長挨拶

- ・これまでどおり様々なご指導・ご協力をお願いしたいと思っている。
- ・今朝の北海道建設新聞において、北海道新幹線倶知安駅の明かり区間の工事が進んできている。また、杭打ちがいよいよ始まり、本格的な工事が着々と進んできている。町民や町を訪れる観光客やビジネス客の方々にも、北海道新幹線の開業に向けてカウントダウンが始まったというような実感を持たれているのではないかと思います。
- ・令和3年度に設置された本委員会において、新駅の東西駅空間のあり方や都市施設にどのような機能をもたせるか等について議論を頂戴してきた。今年度は今までの議論を踏まえ、西口広場や都市施設の在り方をさらに深めるとともに、鉄道・運輸機構から提示される駅舎デザイン案について議論を重ねていただき、これからの町のまちづくりに大きく反映していきたいと考えている。
- ・倶知安町は日本だけではなく世界各国から多くの方が来訪している。世界のリゾート地として日々成長し続けているところ。
- ・北海道新幹線倶知安駅さらに高速道路ネットワーク整備によるさらなる発展が期待されるが、本委員会では駅周辺整備に向けた取組を進め、住む人が使いやすく、訪れた人がわかりやすい国際リゾート地の玄関口としてふさわしい駅周辺整備の在り方とまちなかのにぎわい創出できるよう、今まで以上に忌憚のないご意見を頂戴したい。



5. 委員及び事務局の紹介

(倶知安町 植田主幹より、委員及び事務局を紹介)

6. 委員長及び副委員長の選出

- ・委員長として木村委員、副委員長として吉田委員がそれぞれ選出される。



7. 議事

(1) 前年度までの検討概要および西口広場機能について… 資料1、資料2

(倶知安町 倶知安町 西口主幹)

- ・資料1について説明

(倶知安町 倶知安町 植田主幹)

- ・資料2について説明

(倶知安町 倶知安町 植田主幹)

- ・本日欠席している窪田委員から事前に頂いた意見を紹介する。平面案と立体案で資質が大きく異なるため、財政負担対利便性からどちらとも言い難く、町の財政状況を鑑みながらの最終判断ということもあるかと思うが、採択された場合の検討課題を伝える。

平面案：かなり広い面積のアスファルト空間となるため、パース上の緑色に塗られている部分は、除雪の都合もあるかと思うが、人のアプローチ動線沿いに樹木といったうるおいの要素が必要と感じている。西口のゲート空間として都市施設の作りこみやデザイン性が大切。

立駐案：かなり大きな構造物となるため、西口の顔となる空間としていくため屋根の構造物をどこまで景観に配慮した仕様とできるかがポイント。屋根面等の緑化に加え、屋根側面の立ち上がりロータリー天井部分の仕上げは温かみのあるものとするとともに、駅舎デザインと一体感を感じる仕上げの工夫が必要。

両方に言える課題：緑地部分や歩行アプローチ沿いに樹木を配置することで環境調和を図ることが大事。

(木村委員長)

- ・本日から参加される委員に意見を伺いたい。まずは東口側について、ご意見や感想はある

か。

(青柳委員)

- ・情報発信・物販機能について、展示物による情報発信を想定しているのか。

(木村委員長)

- ・詳細な内容については、これからの議論。

(波方委員)

- ・トイレは2階に設置しないのか。

(木村委員長)

- ・その点についてもこれから。これからの議論の中で、機能の必要性を議論したい。

(波方委員)

- ・避難経路として、外に階段は必要ないのか。

(木村委員長)

- ・現時点で、都市施設の外に階段を設けることにはなっていない。

(ドーコン 朝倉)

- ・トイレについて、昨年度の議論を踏まえ、配置はまだだが、2階にも小規模なトイレ機能置を検討したい。

(木村委員長)

- ・今後発表される駅舎のデザインを含めて、議論を深化したいと思っている。

- ・東口駅前広場については、これまでに相当議論をしてきたので、地域の要望を含めて反映されている中身となっていると思っている。

(倶知安町 西口主幹)

- ・東口駅前広場については道と協議し、今年度中に都市計画変更を行い、事業を詰めた最終段階に入ってきている状況。

(木村委員長)

- ・倶知安町だけで決められるものではないので、委員会で議論した内容を踏まえ、関係機関と町が調整しながら進めてきている。

- ・都市施設については、駅舎高架部分と東口駅前広場に外付けの部分のふたつの整備となる。高架下部分は、JR北海道に賃料を払って整備となる。余談となるが、倶知安駅は北陸新幹線飯山駅を参考にしながら検討を進めてきた。飯山駅はスキーリゾートの玄関口という位置づけとなっており、地域性が類似していることから、導入機能を検討する際に参考としている。

(斉藤委員)

- ・東口広場の一般車の乗降と一時駐車場と形が変わっているようなので、経緯を教えてください。変更により広場の広さが変わっていないかを教えてください。

(倶知安町 西口主幹)

- ・警察との協議中で、東口広場の一般乗降の出入口と駅前通の近さを解消するために、出入口を反対にする必要があり変更している。出入口の変更により縦でのレイアウトが困難となったので、現在の形となった。面積はほぼ変わっていない。

(齊藤委員)

- ・交番横の2マスは、警察車両用か。

(倶知安町 西口主幹)

- ・そのとおり。
- ・当初、都市施設側に交番を配置する予定だったが、警察協議の中で、警察から交番は道路に面しているところがいいと要望があり、今の配置となっている。

(吉田副委員長)

- ・駐輪場はどうなったか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・今年度詰めていきたい。今現在、都市施設の横の部分を駐輪場と考えているが、JR北海道や鉄道・運輸機構の利用想定を踏まえて、都市施設の横にするか、高架下の一部を活用するかを検討していきたい。

(木村委員長)

- ・補足説明させていただくが、観光送迎の迎える機能は西口、降ろすだけは東口という設定となっている。
- ・ちなみに大型バスは侵入できるのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・大型バスは入れない。最大でハイエース程度まで。マイクロバスも厳しい。
- ・あくまで町民が自家用車で一時的に人を降ろす時に利用する駐車場というイメージ。

(木村委員長)

- ・東口は、ハイエース程度の小規模な送迎の「送」機能という理解か。であれば、運用が難しくなるはず。

(倶知安町 西口主幹)

- ・仰るように、運用については今後決めていかななくてはならない。考え方は、観光送迎は西口駅前広場としたいと考えている。

(岩佐委員)

- ・西口広場が裏側という認識では無ければ問題ないかと。

(吉田副委員長)

- ・交通アクセスが東口にあり便利であるため、今まで倶知安駅を使っていた町民利用を東側に集約させたいという意見集約だと理解している。

(木村委員長)

- ・運用ルールは考えていく必要がある。

(齊藤委員)

- ・降りる方であれば、利用時間が短くすむ。かつ、降りた方が新幹線に乗るまでに駅または駅周辺で買い物をするにもつながるのではないかというのが、これまでの議論であがっていた。

(木村委員長)

- ・マイクロバスは利用できるかと思っていた。

(齊藤委員)

- ・木村委員長と同じく、マイクロバスまでは利用できると思っていた

(吉田副委員長)

- ・その運用は、観光協会を通して検討するとさほど混乱は生まれないと思う。

(木村委員長)

- ・運用上のルールは考える必要がある。マイクロバスが利用できないならば、今の面積のよ
うな広くする必要がないのでは。

(倶知安町 西口主幹)

- ・車両の軌跡を考えると、このくらいの面積となる。

(木村委員長)

- ・東口広場で待つ人がでないようにする必要あり。

(岩佐委員)

- ・函館駅が似たようなレイアウトかと思う。一般車両用の降ろすだけの機能があったように
思う。

(木村委員長)

- ・観光送迎は西口広場が基本となるということと、運用ルールは考えなくてはならないこと
がわかったかと思う。
- ・今までの議論に関して、他質問はないか。

(齊藤委員)

- ・個人的に立駐案でまとまったと思っていた。昨年度の議論では、今回示されている案とは
別な案もあったかと思う。あの案はなくなったわけではないと考えてよいか。

(木村委員長)

- ・駅に対する景観が今回の会議資料にあるような無機質なものではなく、もう少しデザイン
性のあるものや緑に囲まれたような雰囲気にならないかなど、複数の例を基に昨年度は議
論した。
- ・昨年度は、コスト面を考慮せず議論していたことがあり、今回の資料ではシンプルな立駐
案を提示しているかと思う。昨年度の議論で上がった案は消えたわけではない。
- ・なぜ、改めて平面案を検討することになったかの議論を事務局に伺いたい。コスト面と運
用面を勘案して、平面案も検討してほしいという理解か。

(倶知安町 西口主幹)

- ・最終的に、本委員会で議論した内容を含めて町が駐車場を判断するためには、立駐案だけ
ではなく平面案についても、もう少し意見を把握した上で、検討したいというところ。

(木村委員長)

- ・倶知安町は豪雪地域であり雪対策が必須となる地域であるため、利用者の利便性を考える
と立体駐車場にした方が良いというのが昨年度までの本委員会における概ねの意見であっ
た。立駐案は、駅舎を出ると上に駐車場があり、地下空間にロータリーがあるようなイメ
ージ。

(波方委員)

- ・昨年度までの議論について、地下に駐車場を整備する議論はなかったのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・今の立体駐車場案より地下駐車場案の方が、かなり費用がかかるため、検討から外れた経緯がある。

(木村委員長)

- ・景観上の問題、コストの問題（イニシャルとランニング含む）、利用者の利益をどう考えるかという議論になっていくかと思う。

(柏谷委員)

- ・資料2のP.3について、第1駐車場横から体育館横に抜ける道路を整備するのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・体育館側から第1駐車場に侵入する経路を想定はしているが、現時点ではどこを進入路とするかは決めていない。図面修正が残っており申し訳ない。

(柏谷委員)

- ・公園道路の整備計画について聞きたい。今までの議論の中で、あくまでも可能性という話であったかと思うが、河川部分の利用可能性があるのかどうか、旭ヶ丘公園の今後の方向性や検討中の計画があれば教えていただきたい。

(倶知安町 西口主幹)

- ・体育館前の道路は、最終的にきちんとした道路で整備する予定。片側1車線ずつと歩道の整備予定。
- ・河川については、北海道から借りてできる可能性はある。ただ、活用する場合は活用方法を議論する必要がある。橋をかけるかについては、橋をかけてどのような利用をするかを検討する必要がある。
- ・旭ヶ丘公園は、基本構想が出来てから時間が経過しているため、昨年度から役場内で検討中。役場内である程度意見がまとまった上で、町民とのWSを実施し、検討を深めていきたい。プールの跡地利用や利用されていないテニスコートなどを含めて、検討が必要な段階。旭ヶ丘公園の検討の中に、くとさんパークの検討も含まれている。

(柏谷委員)

- ・平面案について、以前の検討案の中には、第2駐車場の位置を体育館と駅の間に配置したものもあったと記憶している。JR北海道で利用する可能性があるから整備が難しいと説明があったが、それは今も変わらないのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・JR北海道の動向がみえないこともあり、あくまで町有地の中で議論したいと思っている。

(佐藤委員)

- ・資料2のP.9のシミュレーションのうち、収入の金額は立体案と平面案が異なるのはなぜか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料2のP.8の前提条件にも記載があるが、平面案と立体案の料金はそれぞれ飯山駅の駐

車場の料金を適用している。

(佐藤委員)

- ・平面案の冬期の除雪費は上乘せしてもいいように思った。

(木村委員長)

- ・平面駐車場で除雪をしている新幹線駅の例として、他にないか。

(一木臨時委員)

- ・自治体で整備された駐車場の例だと、黒部宇奈月温泉駅は黒部市が平面駐輪場を整備している。糸魚川駅は、高架下に駐車場を整備。駐車場の整備は様々で、例えば黒部市は、黒部市だけではなく近隣自治体の住民にも利用してもらえよう、大規模の平面駐車場を整備している。

(木村委員長)

- ・黒部宇奈月温泉駅だと倶知安駅より降雪量がすくないかと思う。

(一木臨時委員)

- ・仰る通り降雪量が少ない。また、水で融雪できるのも大きな違い。

(木村委員長)

- ・本州のように地下水などで融雪できないのは、北海道の特徴。

(波方委員)

- ・高架下の駐車場について、これまで検討しているのか教えてほしい。

(倶知安町 西口主幹)

- ・駅舎のうち屋根がついていない部分は、高架下に雪を落とす関係で、基本は使えない。

(一木臨時委員)

- ・北海道新幹線特有の理由となるが、高架下は駅舎空間以外の利用は考えられない状況。

(木村委員長)

- ・北海道新幹線木古内駅は平面駐車場で、降雪量は少ないのか。

(ドーコン朝倉)

- ・雪はそれなりに降る。新幹線駅前の道の駅の駐車場と兼ねてはいるが、木古内町が除雪を実施している。

(吉田副委員長)

- ・上越新幹線浦佐駅はどうだったか。

(一木臨時委員)

- ・新潟県内は地下水や雪を解かすのに用水路に入れたりするので、散水で除雪している。

(木村委員長)

- ・倶知安駅では、散水できないのが本州との大きな点。除雪作業は大変かと思う。

(岩佐委員)

- ・平面案の場合、倶知安町は雪の量が全然違う。雪をおっつける場所の想定はあるか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・冬期は一部の駐車場が使えないこともあるかもしれない。ロータリー部分には、例えば屋根をつけて雪対策するという考えもある。

(柏谷委員)

- ・雪がたまって景観が崩れるという考えもあるかもしれない。

(岩佐委員)

- ・利便性を考えると立駐案が良いと思う。駐車場の利用者は、現状どういう人が多いと想定しているのか。

(木村委員長)

- ・札幌までの移動時間を考えると通勤は考えられる。リゾート利用の人が、長期で駐車するケースもあると思う。あとは町民利用。どの利用が多いかはまだ検討されていないかと思う。

(倶知安町 西口主幹)

- ・整備構想の際、シミュレーションしている。その際、町民利用が3割弱、それ以外の利用が7～8割と想定。

(岩佐委員)

- ・上記のシミュレーション結果を踏まえると、町の負担だけで駐車場を整備するのはいかなものか。

(吉田副委員長)

- ・駐車場料金の設定で回収する手もあるかと思う。他の地域でもそうしているケースもある。

(木村委員長)

- ・駐車場の屋上を例えばカフェなどにしてその利用料を駐車場にあてるという考えもある。若い方からの斬新なアイデアをぜひ伺いたい。

(吉田副委員長)

- ・本当かどうか定かではないが、JRインがホテルを建てたいと聞いた。ホテルの駐車場として利用させる手もある。旭ヶ丘公園でイベントを実施する際、集客効果が見込めるならば十分考えられる。

(柏谷委員)

- ・窪田委員からのご意見にもあったが、緑化の話をするならば、立駐案のほうが園内道路の緑化可能な面積が増える。
- ・除雪費はどの数値を参考としたものだったか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・倶知安町の除雪単価を基に算出した。

(柏谷委員)

- ・今後の値上がりのこともそうだが、そもそも除雪をやる人手が不足するのではないか。
- ・平面案の場合、降雪時に利用できる駐車台数が減り、稼働状況が劇的に下がるのではないか。平面案と立体案は設定を変えてシミュレーションした方が良いのではないか。

(青柳委員)

- ・町内の旧ホームックの場所がまさにそう。宿泊客が1日停車していたりするため、除雪が出来ない部分が発生し、駐車場の稼働率がかなり下がっていた。感覚として、駐車場の2割くらい減るように思う。

(木村委員長)

- ・倶知安町は1日だけでかなり雪の状況が変わる地域。朝止めて夕方にはかなり積もる場所なので。果たして平面駐車場だけでいいのかを議論する必要がある。

(倶知安町 植田主幹)

- ・倶知安町の地域柄、平面案と雪対策は切っても切れないと考えている。仮に、一部屋根を設置するといったような、ざっくりばらんな意見を頂きたい。

(柏谷委員)

- ・個人的には立駐案がいいと思っているが、今後の在り方として、2層のロータリー部分は立駐で整備し、1層部分は平面でスタートするといった、2期工事は可能なのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・状況によってはありえるかと思う。

(倶知安町 植田主幹)

- ・整備の拡張性は今後のキーワードになると思っており、稼働状況に応じて増やすという考えもあると思っている。この考えでいくと、平面案の方が整備しやすいかと思う。

(木村委員長)

- ・立駐の駐車台数について、各階層の設定を教えてください。

(倶知安町 植田主幹)

- ・平面駐車場側の立体駐車場（屋根掛け部分）で32台、立体部分で169台となり、概ね200台となっている。

(岩佐委員)

- ・駐車場の整備費について立体案で15億円と試算されているが、高いと判断する基準はどう考えるといいか。町として、そもそも5億円しか出せないというのであれば、今の議論に意味がないのでは。

(倶知安町 西口主幹)

- ・現時点で立駐案の整備費が無理と判断しているわけではなく、町として整備するとなった場合、町として負担が少ない方がいい。
- ・平面案と立体案の2案をもって、どういう組み立て方ができるかという柔軟性を持ちつつ町として判断できたらと思っている。

(岩佐委員)

- ・整備費から判断するのではなく、決まった案の中で整備費をどうするかを検討するという理解でよいか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・あとは建設の進め方。最初平面案でいくか、立駐案でいくかという組み合わせも必要かと思う。

(木村委員長)

- ・どこが落としどころをなるかの判断材料を、本委員会で議論していきたいということだと思う。コスト面も重要だが、どうあるべきかを議論をしていったほうがいい。

(青柳委員)

- ・例えば、平面案の第2駐車場のスペースを多目的広場として、大型イベントの誘致という利用方法もあるかと思う。

(木村委員長)

- ・あっていいと思う。ちなみに、これまでの議論では、賑わいは東口広場に設ける方向で進んできた。

(青柳委員)

- ・図面でみると、東口広場のスペースだと小規模イベントのような形になるかと思う。大人数を集めることは想定していないのではないか。

(木村委員長)

- ・体育館利用者も使用するかもしれない。要は、駐車場が稼働するためにはどうするかを議論したい。

(吉田副委員長)

- ・3階に国際会議場を整備してはどうか。学会後、駅前にバスを待たせておき、そのまま山側に連れていくイメージ。

(波方委員)

- ・青柳委員の意見について、平面案だとスペースが限られるので、立体案だと駐車場を確保しつつの屋上でイベントを開催するという事も考えられるのではないか。
- ・除雪する人手が少なくなっていく中で、立体駐車場の方がメリットが大きいかと思う。
- ・平面駐車場で屋根を整備する場合、屋根の除雪費が追加でかかるのでコスト面についていかなものかと思う。

(峠委員)

- ・これまでの議論を踏まえても、すべて平面駐車場として整備することはないと思っている。予算の関係でどのくらいの立体駐車場が整備できるのかを検討してはどうか。
- ・駐車場料金でペイできるとは思ってなく、整備にかかったお金をイベントや都市施設など、駅全体の収益でお金が回るという考えもあるのではないか。

(木村委員長)

- ・本日の委員会での意見としては、新しい委員の意見を含めても、立駐案が良いという方向かと思う。立駐と平面を併設するか、立駐自体がどのように稼げるか等、今後の議論になるかと思う。

(峠委員)

- ・駐車場以外でどこから収益が生まれるかを考える必要がある。

(波方委員)

- ・仮に立体駐車場を整備した場合、都市施設にアクセスできるものなのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・直接は行き来できない。

(木村委員長)

- ・飯山駅からあるいて200mくらいのところに隈研吾設計の飯山市文化交流館「なちゅら」が

あるが、新幹線整備後、予約で埋まっている状況。駅のそばに大規模集客施設を活用する方法を考えると、おのずと駐車場の稼働率が上がってくる。周辺含めて検討するといいい。

(齊藤委員)

- ・隈研吾設計のホール規模について伺いたい。

(木村委員長)

- ・確か、大ホールで300人、中ホール150人程度と、大規模な施設というわけではない。
- ・新幹線に接しているわけではないが、徒歩5分程度の場所にある。

(佐藤委員)

- ・体育館自体が築年数経過している。新幹線開業時はあるかと思うが、将来、体育館があるのかどう活用するのかの検討が出てくるかと思う。
- ・立体案が良いと思っているが、インバウンド客が倶知安の雪景色をみられるのは立駐を出てからとなる。立体駐車場（ホームからロータリーまでの間）の暗いイメージをいかに見せるかが鍵になると思う。

(波方委員)

- ・ホームから見えるからいいかと思ったが、見え方の部分は重要だと思う。

(木村委員長)

- ・立駐案にする場合、屋上からの景観をどう見せるかがポイントになると思う。ロータリーから出てきたときに、どう倶知安の世界観をみせられるかというのは考えていくことが必要。
- ・次回の委員会では駅舎デザインが出てくるので、全道的に新幹線がやってくるという機運が高まるタイミングになる。宿題として、立体案とした場合にどのような機能があると良いのか、立体駐車場の中をどうみせるのかという点で皆さんの思いを次回の委員会で伺いたい。アイデアがあれば、事例を含めて提供をいただくと議論が進むと思う。

(吉田副委員長)

- ・今日みたいな内容で、これまでも喧々諤々と議論をしてきた。これからの2年間は非常に重要となっていくので、引き続き、よろしくお願ひしたい。

以上